道央・道南

本社報道部 ☎011(611)6315 FAX(640)2625
苫小牧支社 ☎0144(33)0161 FAX(31)2209
函館支社 ☎0138(52)3870 FAX(33)2185
小樽支社 ☎0134(33)0866 FAX(21)2031
室蘭支局 ☎0143(24)5188 FAX(25)2235

石狩管内

災害協定が最多の6割

道の09・10年度一般土木　技術社会点の加点

道の2009・10年度一般土木有資格者のうち、石狩管内の企業で主観的な要素となる技術社会点の加点を受けたのは管内有資格者の73％に当たる479社となっている。このうち最も多くの企業が加点となった項目は、今回新たに社会的要素となった災害協定で391社に加点。有資格者全体の59・6％に達している。またISOの加点割合が全道平均を上回るなどの特徴が見られる。

石狩管内の一般土木有資格者は656社で前回（07・08年度）より105社減少。等級別の内訳はA等級が前回と同じ49社、B等級が3社減って53社、C等級が17社減の160社、D等級が85社減の394社となっている。

管内の有資格者で技術社会点の加点を受けた企業は479社で前回と比べ108社増えた。等級別にはA等級は前回と同じく48社、B等級も変わらず52社、C等級は15社増の147社、D等級が93社増の232社だった。

技術社会点の加点を受けた企業479社の平均点は32・3点で、新たに災害協定や新分野進出で加点項目が増えたことなどから前回と比べ7・6点上昇した。災害協定に次いで多いのは社会貢献の302社、ISO9001の198社など。

石狩管内ではISO9001と14001取得に伴う加点が道内平均と比べ高い。

品質確保の取り組みを促進するISO9001が198社で管内有資格者全体の30・2％を占めた。これは留萌や宗谷などと並んで高く、道内平均の21・1％を大きく上回る。環境マネジメントシステムのISO14001の加点割合も高く、管内全体の7％に当たる46社が加点。道内平均の4・1％を上回っている。

技術社会点で加点を受ける企業が増えたのは、D等級の多くの企業で新たに加点項目に追加された技術社会点を獲得したことが主な要因とみられる。技術社会点の加点を受けたD等級232社のうち災害協定が174社に上る。

石狩支庁農村　08年度の施行成績

工事の最高は89点

石狩支庁農業農村整備事業の2008年度施行成績がまとまった。最高点は、工事が東宮建設・北土建設・日栄建設（札幌）共同体で施工した経営体育成基盤整備加速化型西原地区30工区など4件が89点で並んだ。委託は、帝国設計事務所が納めた担い手支援畑総土層改良新川地区委託1、トキワ地研が手掛けた経営体育成基盤整備加速化型若葉地区地質1の2件が93点となっている。

評定対象は工事が28件、委託が37件で、07年度と比べ工事は6件、委託は8件それぞれ減少した。

平均点は工事が81・9点、委託81・5点で、07年度と比べると工事は0・6点、委託は0・9点低下している。

85点以上の成績は次の通り。

◆工事

◇89点▽経営体育成基盤整備加速化型遠布中央地区1工区＝新昌建設▽地域水田農業再編緊急川下太地区1工区＝タイヨウ・岡部興業JV▽経営体育成基盤整備加速化型西原地区30工区＝東宮建設・北土建設・日栄建設（札幌）JV▽経営体育成基盤一般型上山口中央地区30工区＝河村工業

◇88点▽経営体育成基盤整備加速化型遠布中央地区3工区＝東亜建設・藤中建設・日邦建設工業JV

◇87点▽地域水田農業再編緊急対策遠布地区1工区＝宮永建設

◇86点▽経営体育成基盤整備加速化型当別南部地区53工区＝エルム建設・成田工業JV▽経営体育成基盤整備加速化型新鶴地区1工区＝宮永建設▽特定農業用管水路等特別対策高倉4支線地区1工区＝新昌建設▽地域水田農業再編緊急対策遠布地区2工区＝街道建設

◇85点▽経営体育成基盤整備加速化型遠布中央地区2工区＝新昌建設・草野作工・中山建設JV▽経営体育成基盤整備加速化型中原地区2工区＝北成建設

◆委託

◇93点▽担い手支援畑総土層改良新川地区委託1＝帝国設計事務所▽経営体育成基盤整備加速化型若葉地区地質1＝トキワ地研

◇92点▽広域関連農道太美南部地区委託1＝アイ・エス設計事務所▽経営体育成基盤整備加速化型内高倉地区委託56＝北海道朝日航洋

◇90点▽特定農業用管水路等特別対策八幡4支線地区委託1＝田西設計コンサル▽経営体育成基盤一般型樺栄林田地区委託2＝北海航測

◇88点▽経営体育成基盤一般型上山口中央地区委託1＝アルスマエヤ

◇87点▽経営体育成基盤整備加速化型西原地区工事資材2＝経済調査会

◇86点▽経営体育成基盤一般型八幡地区委託1＝北海航測▽経営体育成基盤整備加速化型中小樽内地区委託65＝北海道土地改良事業団体連合会

北海道コカ・コーラボトリング

サーモンパーク千歳で　おしらせ道ねっとを運用

北海道コカ・コーラボトリング（本社・札幌、角野中原社長）は、千歳市内の道の駅「サーモンパーク千歳」に電光掲示板付き自動販売機を設置し、道路情報などを提供する"おしらせ道ねっと"の運用をスタートさせた。

おしらせ道ねっととは、同社と開発局が「コミュニティの充実強化」や「周辺地域相互との連携」などを目的に、道の駅管理者である市町村を交えて展開している。

自動販売機に搭載された電光掲示板を通し、自治体からの遠隔操作で平常時には道路情報や地域情報、イベント情報などを流し、災害時には自動販売機内の飲料を無料で提供することもできる。今回を含め、道内54の道の駅で運用されている。

サーモンパーク千歳での運用開始では17日に協定書手交式を実施。同社の山田雄亮広報・CSR推進部長、川村和幸札幌開建部長、山口幸太郎千歳市長が協定書を取り交わし、山口市長は「道路情報や観光情報を掲載することで一段と施設の利便が高まり、災害対策にも心強い」と感謝の言葉を述べた。

運用開始のお披露目として、災害時の無料提供をデモンストレーションし、道の駅来場者に飲料水を振る舞った。

これで、札幌開建管内の石狩、空知すべての道の駅で運用開始したことになる。

協定書を手にする山田広報・CSR推進部長（左）、山口市長（中央）、川村部長

江別測量設計業協会

24日に通常総会

江別測量設計業協会（和田正司会長）は、24日午後5時20分から、江別市内の「あおい」で2009年度通常総会を開く。

石狩湾新港地域で

きょう春季クリーン作戦

石狩湾新港地域春季クリーン作戦がきょう22日午前9時45分から、同地域で一斉に行われる。石狩湾新港企業団地連絡協議会が主催。春と秋に継続して実施している。

札幌開建、道路港湾部、札幌土現、石狩湾新港管理組合、石狩市などが参加。

関係機関が連携して清掃活動や不法投棄撲滅に当たる。

長組

みなとまーれ寿都で清掃奉仕

【小樽】長組（本社・寿都）は20日、2008年に続き道の駅みなとまーれ寿都周辺の清掃ボランティアを実施し、長勇一社長をはじめとする社員30人が晴天の下、汗を流した＝写真。

みなとまーれ寿都は、08年4月にオープン。同社は、オープンを迎えるに当たり清掃活動を展開した経緯があり、今回も観光シーズンの本格的到来を控え、観光客に気持ちよく施設を利用してもらえるようにとの思いで作業を展開した。

道の駅前庭やアクセス道路の路側に堆積したほこりやごみをほうきで丁寧に収集。観光客歓迎への美化活動に一役買った。

後志支庁農村

10年度以降に2.4億円

担い手支援畑総　倶知安北部地区で

【小樽】後志支庁農村振興課は、担い手支援畑総倶知安北部地区（倶知安町）に2010年度以降、事業費2億3570万円を残している。事業完了の11年度までに、区画整理2・1haのほか、暗渠37ha、土層改良17・2haの整備を進める。

同地区は08年度の採択地区で受益戸数42戸、受益面積は354・5ha。排水不良地や連作障害が多いなど適正な輪作体系を取れない状況にある。今回の整備で、ほ場条件を改善させ、輪作体系の確立と生産性の向上を図る。

総事業費は4億100万円。全体では区画整理30haのほか、暗渠47ha、土層改良298haを整備する計画。

09年度は事業費1億3000万円を投じ、区画整理27・9ha、暗渠10ha、土層改良126・4haを整備する。1工区と2工区の入札は27日に行う予定だ。

地域と一体となった活動が評価された5社1共同体

5社1JVに通知書

小樽開建　地域貢献加算点付与で

【小樽】（18日付13面に一部既報）小樽開建は20日、2008年度の総合評価入札で地域貢献項目を高く評価した5社1共同体に対して加算点（0・5点）を付与し、各社の代表者らに通知書を交付した。

同開建が、より地域に密着し住民から理解される公共事業を推し進めようと初めて実施したもの。評価は市町村へ事業者名を伏せて地域貢献実施項目内容を配布し、上位5社へポイントを付けてもらう方式を採った。

交付式で相馬和則部長は「今回評価された項目は、普通に行われていることがほとんどだが、丁寧さとか、地元と一体となっているとか、地域のニーズをしっかりとらえた点が評価されたのでは」とし、今後も中身の濃い創意工夫を各社に求めた。

各社の活動内容は次の通り。

▽草別組＝バス停、地域集会場の草刈り、除雪、安全看板設置▽近藤工業＝「積丹まんぷく祭り」警備業務の協力▽瀬尾建設工業＝現場へAEDを常備、配置警備員による周知▽静信建設＝現場周辺路肩、バス停の定期的ごみ拾い▽ガイアートT・K＝現場事務所周辺の高齢者宅の除雪活動▽道央・北道JV＝地域で行っている防犯パトロール

地域のニュース
最寄りの支社局までご一報下さい

主体その他を5月上旬公告へ

函館市　総事業費は3.7億円

東消防署戸井出張所の庁舎

【函館】函館市は、2009年度に着工する東消防署戸井出張所庁舎新築について、主体その他（外構を含む）、電気、管の3分割で発注する方針だ。総事業費はおよそ3億7000万円で、そのうち、建築工事費が1億6310万円で議会承認が必要となる主体その他は、条件付き一般競争で5月上旬の公告を見込んでいる。資格要件には、建築のA等級1社とB等級1社の2社共同体を想定している。

電気、管の発注については、ともに条件付き一般競争により7月上旬の入札を目指して調整中。資格要件には、電気がA等級2社とB等級1社、管がA等級1社とB等級2社のどちらも3社共同体を見込んでいる。

東消防署戸井出張所の新庁舎は、市消防本部が策定した「消防組織機構再編計画」に基づき、1967年竣工の古川出張所と77年竣工の戸井出張所を統合し、移転新築を図るもの。

建設地は戸井運動公園隣接地の市内小安町525の1で、敷地面積は1328平方㍍。施設規模はRC造、2階、延べ760平方㍍で総事業費は約3億7000万円となっている。設計は山田総合設計・堀建築企画設計事務所共同体。10年4月に供用開始する予定だ。

ツバメ工業

噴火湾パノラマパークなどを清掃

【函館】ツバメ工業（本社・八雲）は20日、八雲町内の道立公園噴火湾パノラマパークとその周辺で、清掃ボランティアを社員と作業員10人で実施した＝写真。

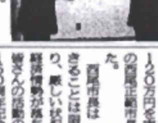
見崎久實社長が実行委員会副委員長を務め、2月に開かれた「八雲さむいべや祭り」の会場となった同公園内の滑り台のスロープと駐車場、公園と国道5号を結ぶ町道浜松7号線沿いのごみを拾った。

同公園は5月の大型連休に、大勢の観光客が訪れることが予想されるため、雪解けの時期を見計らって実施した。この奉仕活動は2006年から実施していて、ことしが3回目となる。

高橋組と協力会

函館開港150周年記念で寄付金

【函館】高橋組（本社・函館）と協力会の力栄会災害防止協議会は20日、函館開港150周年記念事業実行委員会へ寄付金を贈呈した。



寄付金を手渡す高橋社長（右）

この日は、高橋組の高橋町行社長と梅田哲郎総務部長、力栄会災害防止協議会会長の竹林真佐光木村組社長が函館市役所を訪れ、記念事業の成功と地域貢献への思いを込め、同社と協議会構成メンバーから募った寄付金120万円を実行委員長の西尾正範市長に手渡した。

西尾市長は「役所でできることは限られており、厳しい状況の中でも経済情勢が落ちないのは皆さんの活動のおかげ。150周年記念事業に向けたPR、観光客を視野に入れた、にぎわいの創出につながるよう努めていきたい」と感謝を述べた。

渡島支庁林務　09年度の公共治山

31カ所で10.8億円

【函館】渡島支庁林務課の2009年度公共治山は、31カ所で事業費10億8400万円（08年度比3・5％増）となった。

このうちゼロ国債分を除くと29カ所、10億800万円になる。新規個所は、函館市東山岬町の水無沢治山施設機能強化、八雲町熊石見日町の成田地先山地災害総合減災対策治山、函館市亀田中野町の中野地区保安林改良の3カ所。

個所別事業費は次の通り。

◆通常予算　29カ所、10億800万円

◇復旧治山▽函館町所川地区＝4500万円▽函館市鶉上川＝4600万円▽函館市岩戸地区＝1億5300万円▽森町駒ケ岳地区＝2億2100万円▽函館市御崎地区＝1億6200万円

◇地域防災対策総合治山▽函館市見日地区＝1億5000万円

◇治山施設機能強化▽函館市水無沢＝5500万円

◇山地災害総合減災対策治山▽八雲町成田＝3000万円

◇土砂流出防止林造成▽森町駒ケ岳地区＝1700万円

◇共生保安林整備▽長万部町とみのの森＝2200万円

◇保安林改良▽松前町緑石地区＝300万円▽知内町元町地区＝600万円▽木古内町■川地区＝1100万円▽北斗市戸切地地区＝800万円▽森町尾白内地区＝200万円▽長万部町共立地区＝1600万円▽函館市銭亀野地区＝500万円▽函館市中野地区＝600万円

◇保育▽松前町白神ほか＝200万円▽福島町吉野ほか＝200万円▽知内町森越ほか＝100万円▽木古内町釜谷ほか＝100万円▽北斗市戸切地ほか＝400万円▽七飯町西大沼＝700万円▽鹿部町本別＝500万円▽森町尾白内ほか＝900万円▽八雲町富咲ほか＝1100万円▽長万部町旭浜ほか＝400万円▽函館市銭亀野ほか＝400万円

◆ゼロ国債　2カ所、7600万円

◇復旧治山▽松前町原口地区＝3600万円

◇予防治山▽知内町中の沢地区＝4000万円

高橋知事と増田顧問

広域連携テーマに

胆振管内市町長と意見交換

【室蘭】道は20日、胆振支庁で高橋はるみ知事、増田寛也顧問と胆振管内市町長との意見交換会を開き、広域連携をテーマに定住自立圏構想などについて意見を交わした。

道の増田顧問は「地方分権改革の今後と広域連携の必要性」と題して話題提供。「税財源は消費税を地方に移し、中央省庁の抵抗を抑えるためにも医療など地方の役割を説明できるようにするべき」と要望した。

また、定住自立圏構想について推進要綱の概要、先行実施団体の状況のほか、中心市宣言の要件、先行実施団体の取り組み概要、総務省の財政措置、関係各省による支援措置などを説明し「地方圏は人口減少や少子高齢化の厳しい現状から、中心市と周辺市町村が生活実態や将来像を協議し相互連携を図ることが必要。そこに国が財政支援することだ」と説いた。

意見交換で各首長からは、主に自立圏構想について「東胆振と観光面で連携したい」（小笠原春一登別市長）、「合併にとらわれないことから、住民にも理解してもらいやすいのでは」（工藤国夫豊浦町長）や、厳しい財政状況から「自立圏の議論の過程でダイナミックな財源移譲も必要」（岩倉博文苫小牧市長）などの考えが示された。

改修による省エネ学ぶ

パッシブシステム研究会　家と健康の懇談会

【室蘭】NPO法人パッシブシステム研究会（中野隆二理事長）は18日、会員の住宅夢工房阿部（本社・室蘭、阿部誠三社長）が改修事例として提供した室蘭市小橋内町の戸建て住宅で「家と健康についての懇談会」を開き、同研究会顧問でもある北方建築総合研究所の福島明居住科学部長を講師に、改修による省エネ化などについて理解を深めた。

福島部長を囲み、和気あいあいと住宅の詳細について学んだ

会場となったのは、築34年の3世帯住宅で、改修工事が完成したばかり。パッシブ換気システムを導入し、床下の防湿や次期省エネ基準に合わせた断熱・気密性の向上、基礎の補強や床の強度アップによる耐震・耐久性の確保などが図られた。

阿部社長は「この住宅は、改修によって寒さ暑さを防いで快適に過ごせるようにし、音や構造的な問題などを解決した。きょうは光の取り方や風通しなどを考えてもらいたい」と呼び掛けた。

福島部長は「ここの特長はパッシブ換気システムを導入し、暖房や断熱、気密も含め、改修でここまでやる事例は少ない。自然換気は、ヨーロッパでは普通だが、日本では極めて少数派」などと改修内容や、住まいと健康の関係について解説した。

今期需要、10万㎥を想定

日高生コン協組が総会

【苫小牧】日高生コンクリート協組は20日、新ひだか町のホテルローレルで2009年度通常総会を開いた。議事では、今期の日高地区総需要を08年度当初と同様の10万立方㍍と想定。高品質、安定供給に努めるとともに、組合各社の経営安定や技術向上を目指すとした。

南博理事長は「昨年度の総出荷数量は、予想を上回る約13万立方㍍の出荷となったが、前年度対比では6・2％の減少だった」と報告。また、08年度は原材料費や輸送費の増加で販売価格を引き上げたが、「世界恐慌の真っただ中」との認識から「今後も資材の余地はある」とした。

議事では08年度の事業報告・収支決算報告、09年度事業計画などを審議した。

販売事業では、09年度総需要を10万立方㍍と想定。地区別出荷量は、西部地区と東部地区がそれぞれ3・5万立方㍍、中部地区は3万立方㍍と見込み、高品質と安定供給に努めるとした。

このほか、教育情報事業として、協会情報誌の配布、各種の情報収集・交換などを実施。調査研究では、品質管理監査の強化や技術に関する研修や講習会を開催し、積極的な参加を促す方針。

日高支庁経常JV

水産土木Aで1組を追加登録

【苫小牧】日高支庁は、17日付で2009年度水産土木A等級の経常共同体に、磯田組・北航建設共同体を追加登録した。

技術と実績、環境に配慮した安心・安全施工
ダイオキシン
dioxine
北海道内 焼却施設、設備等 除染・解体実績多数
▶計画から施工まで全てお任せ下さい
▶北海道全域施工致します
お見積のご相談、お問合せは
☎ 本社 (0143) 88-0033
釧路支社 (0154) 32-2222
株式会社ビケンワーク
■本社／登別市新栄町1-29　■釧路支社／釧路市北大通12丁目1-14　□室蘭支店／室蘭市中島町1丁目24-13　□苫小牧支店／苫小牧市表町2丁目1-14